

# 三條別院のご案内

## 三條別院に想う

私と三條別院との出逢いは今から三十七年前の中学三年生の時の得度考査の時です。

その当時の別院の様子がどうだったかは全く覚えておらず、それからしばらく仏法とは無縁の生活を送って来ました。

三十歳を過ぎた頃、自坊に戻り法務を始めました。その時初歩から声明を学んでみたいと思いい別院に問い合わせたところ、声明教室をやっているとの事。再び別院の門をくぐる事となりました。

当時の別院は二人の列座さんがおられて、声明教室を担当されていました。門徒さん向けの初級クラスと、僧侶向けの中級クラスがあり一週間おきの夜二時間の教室が開かれていました。門徒さん、若手の僧侶、坊守さん、色々な方が来られていました。これをきっかけに別院報恩講の掛役をやらせていただき、儀式作法を学ぶ事も出来ました。

その後、教化センターの学習会に参加させていただき、その頃になると別院に行けば必ず誰かに会えるという、私にとって出逢いの場となりました。そして、さまざまな学習会に参加したり、声明会の例会や会議や組の役員の会議に参加したり、ますます別院に通う回数が増えて

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

Email : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

いきました。

二年前に長男の得度考査があり、今度は親子で別院にご縁をいただく事となりました。二人でこども御遠忌に出仕させていただいたり、長女は御遠忌の庭儀で稚児行列に参加させていただき、何とも感慨深く忘れられない思い出となりました。

また我々の第二十三組では近年推進員養成講座をきっかけに、門徒さん達が行事に活発に参加される傾向にあり、別院報恩講に団参される方が増えています。今後も別院は私たちにとって聞法の中心であり、出逢いの場でもあります。

### 第二十三組福照寺 中富 正純氏

○次回の「三條別院に想う」は、

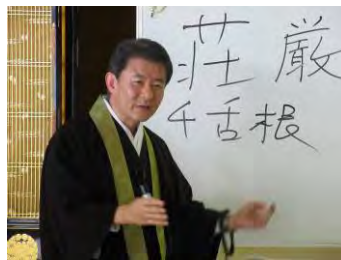
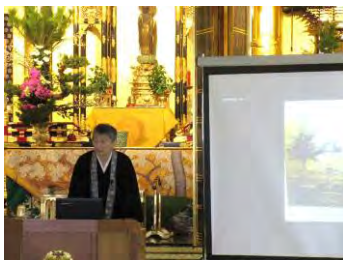
齋藤貞夫氏(第二十組光桂寺)より

ご執筆いただきます。

### 春 彼 岸 会 報 告

三月十七日(木)から十九日(土)まで、春彼岸会が勤められました。講師及び講題は以下の通り。十七日、速夜法話 多田 誓氏(第十組専徳寺)、「大谷派の声明と荘厳について」。十八日午前、永代経法話 北島栄誠氏(第十一組長福寺)、「わたしが救われるということ」。午後、速夜法

話、ひき続き北島栄誠氏「わたしに出来ること。――東日本大震災復興支援について」。十九日、日中法話、白鳥賢氏(第十五組本龍寺)「仏花と荘厳について」。多田氏には声明との出会いから、六根(眼耳鼻舌身意)による荘厳と声明の関係等をお話いただきました。北島氏には午前・午後を通して自身が中越地震で被災されたことと、東日本大震災の復興支援に関わっていくきっかけ、現在感じていること等をお話いただきました。白鳥氏には、木(ほく)を使ったダイナミックな仏花について、実際に講習会で立てたお荘厳の前でお話いただきました。自身が現在の道にすまれた経験を語る講師達のお話を聞き、仏教は身を通して聞こえてくるものだと思改めて感じられる春彼岸会となりました。(松浦寿)



講師の多田氏(右上)、北島氏(右下)、白鳥氏(左上)。3月11日には勿忘(わすれな)の鐘が撞かれた。



三月十四日に当別院本堂に於いて立花講習会が行われました。今年、「普通寺院でも立てられる仏花」を中心とした講習で、別院春彼岸会の仏花を参加者と共に立てました。お取り越し報恩講で仏花を立てていただいている方々をご講師としてお招きしました。中尊前は白鳥賢氏（第十五組本龍寺住職）、祖師前は福田学氏（第十五組善性寺住職）、御代前は長尾豊隆氏（第十組浄覚寺住職）、余間は井上知法氏（第十三組願性寺当院）、補助に巨谷学氏（第十組善了寺住職）、風巻和人氏（第十組祐光寺住職）。二十五人の参加者が各班にわかれ、講師に教わりながら午前九時から午後五時まで一日がかりで作業に取り組みました。講師の方々、参加者の皆様のお陰で三条別院春彼岸会の立花が荘厳されました。

講師の白鳥氏は、例年春彼岸に桜を用いるのですが（枝を暖房の効いた部屋に一週間入れて開花させるそうです）、今回は基本ということで、松を真にした仏花でした。その迫力に参加者も驚きを隠せませんでした。

別院の立花の担い手の育成が課題となっており、「花講」結成を将来に見据え、講習会を行っていく予定です。ぜひご参加ください。（藤井）

真宗本廟（東本願寺）では四月一日の親鸞聖人のお誕生会にあわせて春の法要が勤められますが、三条別院では、子ども奉仕団の日程の中で、親鸞聖人及びお釈迦様のお誕生法要をお勤めしております。

さて、今年の子どもの総数はなんと八十名。春休み期間中の三月二十九日から三十日まで開催された今年の子ども奉仕団には、例年にも増して大勢の子ども達に参加していただきました。スタッフには、別院教化審議会・教区青少年三部門の方々を中心に、渡邊智龍氏（第十八組恩長寺）に委員長、朝倉奏氏（第二十組金寶寺）に全体進行役としてご協力いただきました。



左の写真は、正信偈の練習、工作のゼリーキャンドルづくり、夜のお寺探検、朝の勤行、清掃奉仕、さくら咲けスプリングウォークラリー、お誕生法要の日程を終えた子ども達の様子です。

閉会式の感話では「また来年も来たい」という声を聞かせていただきました。これからも三条別院という場を十分に生かした、他では体験できない子ども会を開催していきたいと切に感じています。（齋木）



「結」の会より感謝状

東日本大震災から五年、現在三條市には五十  
六世帯一二五名が今なお避難生活を送っていま  
す。当別院が毎年十一月のお取り越し報恩講に  
招待し、お齋を提供してきたことに対し、避難  
者とボランティアの三條市民が中心となつて結  
成したさんじょうふくしま「結(ゆい)」の会  
より感謝状と記念品をいただきました。



三條スパイス研究所と三條別院がコラボ

北三條駅のすぐ近く、三條小学校のすぐ裏手  
にあるステージえんがわ内に「三條スパイス研  
究所」が三月二十七日にオープンしました。研  
究所という名前ですが、カレーを中心としたス  
パイス料理を提供するお店です。三條別院のす  
ぐ近くであり、真宗に触れていただき「スマー  
トウェルネス三條」の一環ですが、良いとされ  
る「健康」を問うていきたい、病や老いによつ

て、そこからしか見えない世界が広がることを  
伝える等の願いがあります)、また三條別院う知  
つていただくため、週に月・火・金曜日の三日  
間、午前十一時〜午後一時半まで別院職員や教  
務所員が間衣を着て、来場者とお話をするこ  
とになりました。話のきっかけとして来場者の席  
までお水を運びます。自然に会話ができるよう  
に努めていきたいと思ひます。(森尻)

三條別院「公開講座」のお知らせ

三條別院では、「地域に開かれた別院」をめざ  
し、今年も現代の問題と仏教についての「公開  
講座」を開催いたします。

今回のご講師は、武蔵野大学教授で日本仏教心  
理学学会会長、ケネス・タナカ氏に、現在アメリカ  
で爆発的に増加し続  
けている仏教徒の現  
状をお話しいたさ  
します。

日本のように檀家  
制度が無いアメリカ  
で、どのようにして  
300万人以上とい  
われている仏教徒  
が活動しているの  
か。その中での浄土  
真宗にスポットを  
当ててご講義いた  
できます。



アメリカ仏教

仏教も変わる、アメリカも変わる

ケネス・タナカ



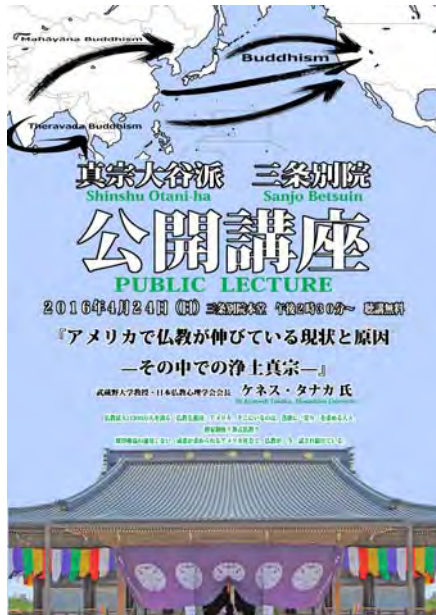
- ◇日時 四月二十四日(日) 午後二時半より
- ◇会場 三條別院 本堂
- ◇聴講無料
- ◇講師

武蔵野大学教授・日本仏教心理学学会会長

ケネス・タナカ氏

◇講座

「アメリカで仏教が伸びている現状と原因  
—その中での浄土真宗—」  
多くの方のご来堂をお待ちしております。



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八  
日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と  
法話、その後、座談会の場を開いております。  
どなたでもお参りいただけます。皆様のご参  
詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、  
午後一時三十分よりお勤めしております。

◇日時 四月二十八日(木) 午前十時より  
◇会場 三条別院 本堂  
◇お勤め(御命日 日中法要)  
文類偈 行四句目下  
念仏讃 洵五  
和讃 回口 次第六首  
回向 願以此功德

◎今月の法話講師

小林智光氏(第十二組浄照寺)  
『歎異抄』に聞く【第四章】

◆一月の御命日のことより、『歎異抄』に聞く」という内容で、第一章から順に、それをテーマにした法話を頂いております。



◇今後の講師一覧

五月 池田 陽氏(第十八組長周寺)【第五章】  
六月 朝倉 泰氏(第二十組金寶寺)【第六章】

定例法話会

毎月十三日の前開首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話を左記の通り開催いたします。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く  
午後一時三十分より(二時間程度)  
◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

二月〜四月 齊藤 研氏  
(第十五組正樂寺)



『総序に学ぶ〜真宗入門〜』  
◆親鸞聖人が著された『教行信証』の総序についての法話です。

五月・六月 村山教二氏(第十一組願興寺)  
七月 松岡誠一氏(仏像文化財工房)  
「親鸞聖人御木像調査について」

◆二〇〇八年から二〇一五年にかけて行われた宗祖親鸞聖人御木像調査について、担当委員の村山教二氏と、新潟日報の連載記事でもおなじみの松岡誠一氏にお話しいただきます。

その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時〜八時〕  
二月十八日(木)〔済〕、三月十七日(木)  
四月二十一日(木)、五月十九日(木)、六月十六日(木)



講習内容 真宗大谷派勤行集赤本

講師 長田 暢氏(第十六組善興寺)  
参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕  
講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)  
月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)

随時募集中

○三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、開法会を開催しませんか?

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎真加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は養者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしているご門徒からはじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。参加希望の方は、ぜひ別院までご連絡ください。

○座談(清掃講)

二〇一五年九月に結成された、生まれたてホヤホヤのお講です。現在、講員は全員で十一名。さらに多くのみなさんと一緒に活動をしたいと現在講員大募集中です!

ぜひ、御一緒に清掃奉仕と十三日の定例法話の聴聞をしませんか! 講員一同、心からお待ちしております!

◆◆編集後記◆◆

「地域に開かれた別院」を課題に、三条別院では教化活動を行っており、自分は頑張って地域に開かれるべく努力しているな...と自己満足に陥ることがあるが、「私の努力」などのはるか前から、地域に開かれていた事例に遭遇する時、自然と頭が下がる。

今回子ども奉仕団に八十名の児童が参加してくれた。多くは裏館小学校、一ノ木戸小学校など、別院近隣の小学校である。今回多くの子どもたちが集まったのは、「私たちが集めた」のではなく、「松葉幼稚園卒業生」たちが、友達を誘って集めてくれたのではないかと、頭が下がる。(斎木)